

寺田 陽次郎（てらだ ようじろう）

□ 1947年3月神戸市生まれ



略 歴

- ・ 1972年：東洋工業株式会社（現マツダ株式会社）契約レーシングドライバーに
- ・ 1974年：「ル・マン24時間レース」初参加
- ・ 1983年：「ル・マン24時間レース」クラス優勝
- ・ 1988年：「ル・マン24時間レース」クラス優勝
- ・ 1990年：「ル・マン24時間レース」クラス優勝
- ・ 1992年：ル・マン参戦のエピソードを集めた「ル・マン午後4時」を上梓
- ・ 1993～94年：大阪産業大学工学部講師（非常勤）
- ・ 1995年：「ル・マン24時間レース」自己最高位の総合7位入賞
- ・ 1997年：株式会社オートエクゼを設立
- ・ 2001～07年：ニホン・オートモビルカレッジ講師（非常勤）
- ・ 2003年：「ル・マン」主催者のACO（フランス西部自動車クラブ）理事に就任
- ・ 2006年：ACOより、日本人として初の「スピリット オブ ル・マン」を受賞
- ・ 2007年：株式会社ACO JAPANを設立
- ・ 2010年：観光庁「スポーツ観光マイスター」就任

主な活動

1965年に、ホンダS600でレースデビュー。
1969年、(株)マツダオート東京に入社。ロータリークーペ、カペラ、サバンナRX-3などを経て、1974年富士ツーリングチャンピオンに輝く。以後1976年まで富士ツーリストトロフィーレースで3年連続優勝を果たす。
海外ルースでも、スパ・フランコルシャン（ベルギー）、デイトナ（米国）、ル・マン（フランス）の世界3大24時間レースに日本人として最初に出場。ル・マンには、1974年以降本年まで3回のクラス優勝を含め29回出場。日本人としての最多出場記録を現在更新中。近年では「Mr.ル・マン」と呼ばれている。
(株)マツダスピード退職後は、1997年(株)オートエクゼを創設し、モータースポーツ活動とマツダ車専用自動車部品の開発・販売に意欲的に取り組んでいる。
また、サーキットでの豊富な経験を生かして総務庁、警視庁、各県警察本部、(財)全日本交通安全協会などの交通安全キャンペーンに積極的に協力している。
2003年には、フランス「ル・マン24時間レース」の主催者であるACOの理事に就任し、日本／極東地域におけるモータースポーツ文化の架け橋役として活動中。
2007年、アジアでル・マンシリーズ開催のため、(株)ACO JAPANを設立した。